

わたしたちの地域マップをつくる

アーバンデータチャレンジ 2018長野拠点イベント

この講座では、スマホを使った地域情報発信にチャレンジします。「あなたの地域」の発信の仕方、地域への視野の広げ方、深め方を学びます。デジタルコモンズ（ネット上の情報の共有地）の地域マップに地域の情報をマッピングします。地域マップは講座終了後も長く使い続けることができます。あなたも地域の発見・発信とマップづくりを末永く楽しんでみませんか？



●学習目標

- ①地元を自ら発見し発信できるようになる。
- ②スマホを使って地域マップが作れるようになる。
- ③マップづくりの活動が構想できるようになる。

●地域マップ

あなたがスマホで伝える情報は即座にネット上のマップに公開されます。講座終了後も載せ続けられます。発信したいものをマップに載せ合って地域の探求を楽しみましょう！

●「信州デジタルコモンズ」とは

信州(長野県)をフィールドにした情報の共有地。各地域の誰もが地域の知識の源泉となるデータや教材を載せ合い、皆で取り出して活用できます(左図)。この講座ではその試作版でその輪を広げます。

全4回講座 1回のみでも受講できます

①地域発見へのいざない 11/11(日) 13:00~16:30

信州デジタルコモンズへのいざない 前川道博(長野大学企業情報学部教授)
 地域って何? 地域発見へのいざない 市川正夫(長野大学環境ツーリズム学部教授)
 スキマから地域を捉える 山本麻綾(skima信州代表、フリーライター)
 ミニ実習「地域をスマホで捉える」 前川道博、中村完二郎(カンプロ)

②何を次世代にアーカイブするかを考える 11/23(金-祝) 13:00~16:30

ミニ実習「みんなの地域マップを見合う」 前川道博・中村完二郎
 夕張アーカイブの事例、地域の何を次世代に伝え活かすか 水島久光(東海大学教授)

③多角的に地域の価値を引き出す 12/1(土) 13:00~16:30

地域の民家と景観を活かす文化への視点 マーティン・モリス(千葉大学教授)
 伝統民家と地域づくりへの視点 梅干野成央(信州大学工学部准教授)
 フィールド実習(上田市西部塩尻地区を見聞、マイクロバスで移動)

④未来に向けて地域マップをつくる 12/8(土) 13:00~16:30

地域マップづくりをこれからの活かす 前川道博、市川正夫
 地域マップづくりのアドバイスとQ&A
 まったり地域マップづくり

対象者：地元地域の魅力を発見したい方
 地域情報発信をこれからの活動に活かしたい方
 ICT活用の学校教育・生涯学習を企画したい方
 お子さんや家族と地域を探ってみたい方
 高校生、大学生、大学院生

定員：20名

受講料：無料

主催：長野大学、まちなかキャンパスうえだ

後援：長野県、長野県教育委員会

協力：eメディア研究会(サービス)、カンプロ(アプリ)

【講座内容に関するお問い合わせ】

前川道博(長野大学企業情報学部教授)

TEL：090-2270-5074

メール：maekawa@nagano.ac.jp

会場：まちなかキャンパスうえだ
 上田市中央2-5-10 丸陽ビル1階
 ※専用駐車場はありません。
 近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座詳細(随時更新)：

<https://mmdb.net/dc2018/>

【お申し込み・お問い合わせ】

まちなかキャンパスうえだ

TEL/FAX: 0268-75-0065

(対応時間12:00~19:00 火水は休みです)

受講申込はWebで(参加できる回をご記入下さい)

→ <https://machicam-ueda.jimdo.com/市民講座/>